

○令和４年度における御嵩町地球温暖化防止対策実行計画における点検結果について

項目	基準年度（平成25年度）		対象年度（令和４年度）		比較増減	
	使用量（ℓ）	CO2排出量（kg-CO2/年）	使用量（ℓ）	CO2排出量（kg-CO2/年）	使用量（ℓ）	CO2排出量（kg-CO2/年）
公用車（ガソリン）	34,826.23	80,796.85	18,333.51	42,482.68	-16,492.72	-38,314.17
公用車（軽油）	5,480.21	14,358.15	3,205.36	5,082.18	-2,274.85	-9,275.97
通勤車（ガソリン）	41,401.83	96,052.25	34,849.60	76,115.86	-6,552.23	-19,936.39
通勤車（軽油）	1,174.24	3,076.52	834.24	2,152.33	-340.00	-924.19
灯油	15,597.11	38,836.80	4,725.60	11,766.74	-10,871.51	-27,070.06
A重油	114,500.00	310,295.00	39,800.00	107,858.00	-74,700.00	-202,437.00

項目	使用量（kwh）	CO2排出量（kg-CO2/年）	使用量（kwh）	CO2排出量（kg-CO2/年）	使用量（kwh）	CO2排出量（kg-CO2/年）
電気	1,122,714.52	579,320.69	932,888.70	379,615.50	-189,825.82	-199,705.19

	基準年度（平成25年度）	対象年度（令和４年度）	増減		
CO2排出量合計	1,122,736.26	625,073.30	-497,662.96	対基準年削減率	44.33%

【令和4年度におけるCO2の排出状況】

基準年度である平成25年度は、気象庁の発表では春の後半から秋の前半にかけて年間日照時間が1946年の統計開始以来最も多い記録を上回り、全国的に高温傾向が続いたことで、年平均気温が高かった。また、対象年度である令和４年度においては、春から秋にかけて気温の高い状態が続き、低温は一時的であったため、年間平均気温は全国的に高かったと発表されています。

また、一部の施設において、電気供給の停止があったことで、年間で3回の電気供給業者を変更したこともあり、前年度と比べると電気使用におけるCO2の派出係数が増加しておりますが、基準年度と比べると派出係数が改善していることもCO2の削減要因となりました。

一方、公用車の運用においては、コロナ禍以降、Web研修等が増加したことに伴い、出張等の遠出が減少したことで、ガソリン及び軽油の使用量が減少しました。

通勤車両については、ノーマイカーデイの実施等により職員の燃料使用量に影響したものと考えられます。